



令和2年 上田地域の県政おもなできごと

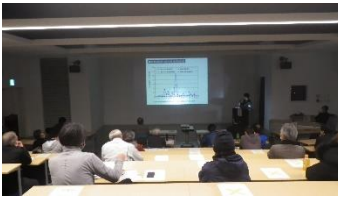
月	内 容	
1月	<p>「つながる力 地域づくり交流会」を開催 (企画振興課)</p> <p>自主的・主体的な地域づくり活動の促進を目的に、「つながる力 地域づくり交流会」を開催しました。(主催:「地域づくりネットワーク上田地区協議会」事務局:上田地域振興局)</p> <p>地域づくり実践者からの活動発表や食をテーマに活動する方を応援する試食会を通じて、参加者同士の交流を行いました。</p> <p>開催後、参加者によるネットワークが構築され、コラボ商品の開発など、地域づくり活動の新たな展開に繋がっています。</p>	
1月 ~ 3月	<p>復興への灯りをともそう!! 「つながる灯り」キャンペーンを開催(商工観光課)</p> <p>令和元年東日本台風災害からの復興を願う「灯り」をテーマに、地域の観光団体が一体となり、復興への機運を盛り上げるイベント(アリオ上田、別所線上田駅、別所温泉)の開催や、インスタグラムキャンペーン、宿泊予約サイトでの宣伝を行いました。</p>	
2月	<p>2020千曲川ワインバレーフォーラムを開催(商工観光課)</p> <p>千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携し、千曲川ワインバレーにおけるワイン産業の発展を目的としたフォーラムを開催しました</p> <p>当日は、ワイナリー関係者のほか、酒販業、観光・宿泊業の関係者総勢200名が参加され、情報交換や商談等で熱気に包まれました。</p>	

<p>3月</p>	<p><b>上田市川西地域を潤す農業揚水機場が完成（農地整備課）</b></p> <p>平成28年度から県営かんがい排水事業「川西地区」により整備を進めてきた揚水機場の改修工事が完成しました。</p> <p>上田地域は、全国有数の少雨地帯であるため、これまで不足する農業用水は千曲川から汲み上げて利用していましたが、揚水機場が老朽化したため、改修工事を行いました。</p> <p>これにより、今後も同地域の農業用水の安定供給が確保できました。</p>	
<p>3月</p>	<p><b>田中橋の通行止めを解除（建設事務所）</b></p> <p>県道丸子東部インター線 田中橋は、昨年（2023年）の東日本台風による千曲川の洪水で右岸側が大きく崩落して全面通行止めとなっていました。</p> <p>懸命な復旧工事により、発災から5か月後の11日に通行が再開でき、安堵しました。</p>	
<p>3月</p>	<p><b>県道別所丸子線 柳沢バイパスが完成（建設事務所）</b></p> <p>道幅が特に狭く、安全通行ができなかった柳沢地区の県道に約10年の歳月を要し延長1.4kmのバイパスが完成しました。また、この事業に尽力いただいた「柳沢バイパス建設促進委員会」が道路功労者として表彰されました。</p>	
<p>4月</p>	<p><b>上田農業農村支援センター発足（農業農村支援センター）</b></p> <p>上田地域振興局農政課と上田農業改良普及センターが組織統合され、新たに、上田地域振興局内に「上田農業農村支援センター」が発足しました。</p> <p>農業農村を取り巻く様々な課題が複雑かつ多様化している中、行政と普及の連携をこれまで以上に強化することで、課題に的確に対応してまいります。</p>	
<p>4月</p>	<p><b>災害復旧係を新設（建設事務所）</b></p> <p>令和元年東日本台風による災害復旧の本格化にあわせ、岐阜県、福井県、滋賀県、兵庫県からの派遣職員も加えた災害復旧係（8名）を新設しました。今後も早い復旧工事完成に努めてまいります。</p>	
<p>6月</p>	<p><b>信州上田・塩田平が日本遺産に認定（商工観光課）</b></p> <p>レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～が文化庁から日本遺産に認定されました。</p> <p>日本遺産認定を受け、上田市、市自治会連合会、上田地域振興局、県教育委員会などからなる日本遺産推進協議会が設立され、塩田平の文化の発信、地域活性化に向けた様々な取組を行っています。</p>	

<p>6月</p>	<p><b>道の駅「マルメロの駅ながと」に「マルシェ黒耀」がオープン（建設事務所）</b></p> <p>国道152号沿いの道の駅に大型農畜産物直売所「マルシェ黒耀」がオープンしました。</p> <p>上田建設事務所ではオープンに合わせ、トイレや駐車場を大々的にリニューアルしました。多くの方の来訪をお待ちしています。</p>	
<p>7月</p>	<p><b>宝池（上田市）の耐震化工事が完成（農地整備課）</b></p> <p>平成28年から県営農村地域防災減災事業により整備を進めてきた「宝池」の耐震化工事が完成しました。</p> <p>宝池は、江戸時代に築造されたため池で、少雨地域の上田市川西地区を潤す重要なため池ですが、今回の改修により、農業用水の安定確保とともに、地震に対する地域の暮らしの安全性が高まりました。</p>	
<p>7月</p>	<p><b>低質材を燃料に活用する発電施設が東御市で稼働開始（林務課）</b></p> <p>製品に利用できない低質材を買い取ってバイオマス発電を行う信州ウッドパワー(株)の発電施設が7月から本格稼働しました。</p> <p>上田地域振興局では、同施設にチップを供給する信州ウッドチップ(株)の機械設備の導入に補助金を交付しました。</p> <p>発電施設の稼働により再生林が促進されることを期待します。</p>	
<p>8月</p>	<p><b>五穀豊穡・コロナウイルス撲滅祈願！「ししおどし」の開催（農地整備課）</b></p> <p>6月に棚田地域振興法の指定棚田地域に指定された旧殿城村（上田市）にある「稲倉の棚田」で、五穀豊穡や鳥獣害被害の軽減、併せてコロナ撲滅等を祈願したイベント「ししおどし」が初めて開催されました。</p> <p>コロナ対策のため、棚田オーナーの9割を占める県外オーナーにはお声がけできませんでしたが、県内オーナーに参加を呼びかけ、松明に火を灯して棚田内を練り歩きました。</p>	
<p>8月 ～ 9月</p>	<p><b>新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みました（総務管理課・商工観光課・上田保健福祉事務所）</b></p> <p>上田圏域では、8月下旬から9月上旬にかけて多数の感染者が確認され、「特別警報」が発出される事態となりました。</p> <p>保健所を中心にクラスター対策チームや応援職員の協力を得て、徹底した調査や検査を実施したほか、飲食店等を訪問して感染拡大予防ガイドラインの遵守徹底を呼びかけるなど、市町村や関係団体と協力し、感染拡大の防止に努めました。</p>	



<p>9月</p>	<p><b>三才山トンネル有料道路が無料化（上田建設事務所）</b></p> <p>昭和51年(1976)に有料道路として開通した三才山トンネルを含む約8.5kmが1日から無料になりました。</p> <p>上田建設事務所では三才山トンネル等、約3.8kmを管理し、安全・円滑な通行確保に努めてまいります。</p> <p>無料化により上田地域への流入が増加し、地域の振興が図られることが期待されます。</p>	
<p>10月</p>	<p><b>県内初！棚田パートナーシップ協定締結（農地整備課）</b></p> <p>日本の棚田百選に認定されている「稲倉の棚田」（上田市）を協働して保全することを目的として、上田市の岡崎酒造株式会社と稲倉の棚田地域振興協議会が、県内初となる「棚田パートナーシップ協定」を締結しました。</p> <p>岡崎酒造株式会社は、稲倉の酒米を日本酒に醸造し消費者へ販売していくことで、棚田の保全活動を応援してくれます。</p>	
<p>11月</p>	<p><b>「再生可能エネルギー100%地域推進プロジェクト」始動（環境課）</b></p> <p>長野県は2050ゼロカーボンを実現するため、本年4月に「気候危機突破方針」を策定しました。</p> <p>長い日照時間という上田地域の特性を活かし、太陽光発電を主力とした再生可能エネルギーの更なる普及と省エネルギーを促進するため、「再生可能エネルギー100%地域推進プロジェクト」と銘打ったセミナーを開講し、意欲ある多くの事業者の方に受講いただきました。</p>	
<p>12月</p>	<p><b>上田地域での「暮らす・働く」をまるっとご紹介！移住希望者向けのオンラインセミナーを開催（企画振興課）</b></p> <p>管内4市町村と連携し、上田地域への移住・定住の促進に向け、地域の魅力や暮らしをアピールするオンラインイベントを初めて開催しました。</p> <p>首都圏等から10組の参加があり、上田地域での暮らしや仕事等について市町村担当者や先輩移住者が相談に応じました。</p> <p>コロナ禍において地方への移住やテレワークの機運が高まる中、効果的な地域の魅力発信を図ってまいります。</p>	
<p>12月</p>	<p><b>「地域発 元気づくり支援金」活用事業の優良事例を表彰（企画振興課）</b></p> <p>令和元年度に「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施した事業のうち、着眼点や他地域への波及効果などが特に優れている3事業を選定し、優良事例の表彰式を開催しました。</p> <p>知事賞には、信州おやこさんぽの「地域のママたちの『やりたい』」を応援！スキルアップ講座事業を選定しました。</p> <p>優良事例の紹介を通じて、地域づくりに取り組む機運を醸成し、地域の元気づくりを促進してまいります。</p>	

<p>12月</p>	<p>ワイン用ぶどう生産者技術セミナーを開催（農業農村支援センター）</p> <p>「千曲川ワインバレーにおけるワイン振興と観光交流の拡大」を目指して、ワイン用ぶどうの生産振興やブランド化・販路拡大を進めています。</p> <p>その一環として、ワイン用ぶどう生産者を対象に栽培技術の向上や交流促進を図るため、東御市において生産者技術セミナーを開催しました。</p>	
------------	---	---

— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —  
**学びと自治の力で拓く新時代**

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)推進中

**上田地域計画【地域重点政策】**

- 1 若者・女性・外部人材の活躍推進
- 2 産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興
- 3 地域の強みを生かし健康をテーマとした観光地域づくり
- 4 結節点という立地を生かした住環境整備・移住推進

上田地域振興局 総務管理課 総務係  
 (課長) 青木 隆 (担当) 岩下麻理子  
 電話 0268-25-7111 (直通)  
 0268-25-1260 (代表) 内線 2212  
 F A X 0268-25-7115  
 E-mail uedachi-somu@pref.nagano.lg.jp



[長野県は「SDGs未来都市」です]

